

[054] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10219>

出版情報：語文研究. 54, 1982-12-20. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼昭和五十七年度第一学期講義題目(昭和57年4月～10月)

国語学

特講 国語学要論

奥村 教授

演習 平曲

〃

〃 国語学の諸問題

〃

特研 方言国語史

〃

特講 国語史

迫野 助教授

演習 説話集研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記法の研究

〃

講義 万葉集の訓法研究

(福岡女子大学) 鶴 教授

国文学

講義 洒落本史

中野 教授

演習 西鶴

〃

〃 五山堂詩話

〃

特研 近世文人伝

〃

特講 近代作家研究

(教養部) 重松 教授

演習 現代文学作品研究

〃

特研 近代文学史論

〃

講義 日本におけるフランス象徴主義—上田敏「海潮音」研究

(教養部) 清水 教授

〃 本朝無題詩の研究
〃 平安文学の背景

(熊本大学) 金原 助教授
(福岡教育大学) 工藤 助教授

▼昭和五十七年度第二学期講義題目(昭和57年10月～58年3月)

国語学

特講 国語史

迫野 助教授

演習 説話集研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記法の研究

〃

演習 万葉集卷十

(福岡女子大学) 鶴 教授

臨講 アクセント史

(上智大学) 金田一 教授

国文学

講義 洒落本史

中野 教授

演習 風俗文選

〃

〃 五山堂詩話

〃

特研 近世文人伝

〃

特講 近代作家研究

(教養部) 重松 教授

演習 現代文学作品研究

〃

特研 近代文学史論

〃

講義 日本におけるフランス象徴主義—上田敏「海潮音」研究

(教養部) 清水 教授

〃 古今集の研究

(熊本大学) 金原 助教授

〃 平安和歌の諸問題

(福岡教育大学) 工藤 助教授

〃 書道史

(福岡教育大学) 塚田 教授

臨講 口承文芸の諸問題

(東洋大学) 大島 教授

▼昭和五十七年度九州大学国語国文学会総会並びに研究発表会

昭和57年6月13日(日)

研究発表題目

「狭衣物語」の「宮の中將」をめぐって
南敵狂歌の本質

後藤 康文

久保田 啓一

芥川初期作品の一手法としての覗き見

松本 常彦

萬葉集卷九考——用字法の面を中心に——

安部 美絵

国語資料としての庄子抄

——音便現象を中心に——

古田 雅憲

言語生活論の試み

福田 益和

源頼政の挙兵をめぐって

笠 栄治

鷗外「安井夫人」をめぐって

立川 昭二郎

国会図書館蔵契沖書入本「源氏物語」について

徳満 澄雄

「伊勢物語」における女の「いろいろこのみ」を考える

吉田 達

浮舟の造型

今井 源衛

▼卒業論文構想発表会

於法文系二〇四番講義室 昭和57年11月6日(土)

▼第三十二回西日本国語国文学会

於琉球大学 昭和57年12月11日(土)～12日(日)

琉球方言と九州方言

崎村 弘文

和泉往來の周辺・統貂

春日 和男

(九州大学関係者のみ)

▼会員消息

犬丸勝良氏(昭和7年卒業)は、去る五十七年四月二十四日逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

▼研究室だより

中野三敏先生は、七月一日付けで国文学教授に昇格されました。奥村三雄先生は、本年八月十日より一年間の予定で、インドネシアをはじめ、東南アジア方面に御出張中です。

中野三敏先生は、「戯作研究」(昭和56年2月 中央公論社刊)の御著書により、昨年のサントリイ学芸賞に続き、第四回角川源義賞を受賞されました。

国語学国文学研究室は、本年九月より明年二月まで、文学部改修工事に伴い、工学部の旧生産研(正門左手)三階三〇八番教室に移転いたしております。

▼新刊紹介

【今井源衛教授文学論叢】
【退官記念文学論叢】

(昭和57年6月刊 A5版 六〇五頁 八〇〇〇円)

今井源衛先生は、本年四月一日を以って、九州大学を定年御退官になられました。それを記念して、受講生有志ならびに研究室の先生方の発起により、かねて計画中の、平安朝文学を中心とする論文集が、このたび刊行のはこびとなりました。本書は、書店扱いをいたしておりますので、御希望の向きは、直接研究室宛お申し込み下さい。なお、本年十二月三十一日申し込み分までに限り、予約特価七〇〇〇円(送料実費)とさせていただきます。

擬作論△中村幸彦▽「源氏物語絵巻詞」における国語史的
 象△春日和男▽「源氏物語」帚木三帖の序跋と階層論につ
 て△迫徹朗▽歌枕須磨をめぐって△島津忠夫▽「櫻寛」の
 女君△野口元大▽「夫木和歌抄」卷三六「言語」考△荒木尚▽
 △祐徳本「宗長道之記」をめぐって△重松裕巳▽啄木とクロ
 ポトキン△助川徳是▽蓬生・関屋巻の成立△伊藤博▽「伊
 勢物語」二段を考える△吉田達▽平家物語「殿下乗合」を
 ぐって△笠菜治▽斎宮女御徽子の六条御息所への投影△西丸
 妙子▽釈蓮禪△金原理▽承和への憧憬△後藤昭雄▽菅原
 在良△福井迪子▽大鏡と伊勢物語△森下純昭▽平安朝にお
 ける「文人」について△工藤重矩▽「賀茂保憲女集」底本の
 問題△古賀典子▽泣不動の説話の成立と展開△南里みち子▽
 △藤原道信集の成立について△中島あや子▽都良香伝考△中
 條順子▽「我身にたどる姫君」の一面△辛島正雄▽路通と
 曾良△白石悌三▽翻刻・「洛陽花下里村昌逸法眼門人帳」△石
 川八朗▽芥川龍之介「六の宮の姫君」と堀辰雄「曠野」の比
 較考察△海老井英次▽平曲の音楽性とことば△奥村三雄▽
 寺町百菴の前半生△中野三敏▽定家以後の仮名遣△迫野虔
 徳▽六条院構想の成立に関する試論△田坂憲二▽「我身に
 たどる姫君」人物索引△今井源衛▽今井源衛教授略歴△今井
 源衛教授著作目録

昭和五十八年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

日時 昭和五十八年六月五日(日)午前九時半より

場所 九州大学文学部

※研究発表御希望の方は、発表題目を明記の上、九州大
 学国語国文学会宛、昭和五十八年五月十日までにお申
 し込み下さい。